

鑑賞と保存の基礎知識 — 文化財料紙への視点 —

国宝修理装演師連盟は選定保存技術保存団体に認定されており、後継者の育成、技術開発、修復材料の開発・改良、記録の出版といった事業を展開しています。本定期研修会はその一環として、平成 7 年より開催しており、今年は第 30 回を迎えます。

節目となる今回のテーマは、文化財修理で重要なテーマである料紙について取り上げます。これまでの文化財料紙研究の成果をふまえ、各時代における、絵画・書跡・典籍・古文書料紙の寸法・品質の特徴に対する知識を共有するとともに、肉眼や光学顕微鏡観察や JIS P 8120 法による繊維分析について基礎的な見方を確認し、個別の料紙が体現する文化財価値、ひいては歴史的な紙の文化に対する理解を深めることを目的とします。

特別な試みとしては、用具原材料の生産者等を招き、存続が危ぶまれている用具原材料の現状と継続に向けた取り組みについて展示するブースを設けます。また、テーマに沿った加盟工房による修理事例のポスター発表を行い、参加者が活発に意見交換できるよう計画しています。

専門家に向けた内容となっておりますが、多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

日 時：令和 8 年 11 月 20 日（金）

10 時から 17 時 30 分（受付開始・開場：9 時 15 分）

会 場：ロームシアター京都 サウスホール 京都市左京区岡崎最勝寺町 13

■ 京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車 1 番出口より徒歩約 10 分

■ 市バス 32・46 系統「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ

■ 市バス 5 系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約 5 分

■ 市バス 31・201・202・203・206 系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約 5 分

定 員：400 名

参 加 費：無料

申込方法：当連盟 WEB サイトよりお申込みください。

国宝修理



申込締切：令和 8 年 11 月 10 日（火）必着

※申込人数が上限に達した場合は、上記より早く締め切ることがあります。

後援：独立行政法人 国立文化財機構、京都府教育委員会、滋賀県、奈良県、

福岡県教育委員会、一般社団法人文化財保存修復学会、全国文化財保存技術連合会



申込ページ
QR コード

〈お問い合わせ〉

(社)国宝修理装演師連盟 事務局

メール：info@kokuhoshuri.or.jp

電 話：075-211-2609

プログラム

10：00 開会挨拶 山本 記子（国宝修理装演師連盟 理事長）

10：05 講 演「鑑賞と保存の基礎知識 - 料紙 - ①

— 料紙研究の成果と料紙の歴史的変遷、我が国に伝来する各種料紙の特徴と利用 1 —

講師：地主 智彦 先生（文化庁美術学芸課 主任文化財調査官（歴史資料部門））

11：05 休 憩

11：10 講 演「鑑賞と保存の基礎知識 - 料紙 - ②

— 料紙研究の成果と料紙の歴史的変遷、我が国に伝来する各種料紙の特徴と利用 2 —

講師：地主 智彦 先生（文化庁美術学芸課 主任文化財調査官（歴史資料部門））

12：10 昼休憩／ポスターセッション／展示

13：30 講 演「鑑賞と保存の基礎知識 - 料紙 - ③

— 本紙および表装（表具）からの文化財の価値・評価との関係性を探る —

講師：高梨 真行 先生（皇居三の丸尚蔵館学芸部調査・保存課 課長）

14：30 休 憩

14：35 講 演「鑑賞と保存の基礎知識 紙文化財の繊維分析 - 分析の考え方と判別のポイント -

講師：有吉 正明 先生（高知県立紙産業技術センター素材開発課 チーフ）

15：35 ティーブレイク／ポスターセッション／展示

16：25 講演者によるクロストーク 進行役：中野 慎之 先生（同志社大学文学部 准教授）

17：25 閉会挨拶 半田 昌規（国宝修理装演師連盟 副理事長）